

授業概要

科目名		耳鼻咽喉科学						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期		1年	後期	
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚士に必要な耳鼻咽喉科学全般の基礎的知識ならびに一般によく遭遇する主な疾患について理解する。												
【実務者経験】												
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士が把握しておくべき耳鼻咽喉科的疾患について理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 語聴覚士が対象とする耳・鼻・口腔・咽頭の構造・機能と疾患を理解する。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	耳科学 ①外耳の構造について理解できる。										プリント 模型	
2	" ②中耳の構造について理解できる。										プリント 模型	
3	" ③内耳の構造について理解できる。										プリント 模型	
4	" ④中枢伝導路について理解できる。										プリント	
5	" ⑤聴覚について理解できる。										プリント	
6	" ⑥疾患について理解できる。										プリント	
7	" ⑦疾患について理解できる。										プリント	
8	" ⑧顔面神経の構造と疾患について理解できる。										プリント	
9	" ⑨平衡器官の構造について理解できる。										プリント	
10	" ⑩平衡器官の疾患と検査について理解できる。										プリント	
11	鼻科学 ①鼻腔・副鼻腔の構造について理解できる。										プリント	
12	" ②鼻腔・副鼻腔の疾患について理解できる。										プリント	
13	口腔の構造について理解できる。										プリント	
14	咽頭の構造について理解できる。										プリント	
15	まとめ											
定期筆記試験												
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト第3版』『標準言語聴覚障害学 聴覚障害学』												
【準備学習・時間外学習】 授業の中で行うまとめ学習の復習と知識の整理が必要です。												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。												